

（学校名）クアラルンプール日本人学校〔幼稚部〕

学校・周辺環境



【学校について】

園児数：幼稚部 約100名（年少20、年中30、年長50）
 職員数：園長1名、教務1名、教諭7名、ローカルアシスタントティーチャー1名、講師1名、（その他小中兼務スイミングコーチ3名、英語講師10名）
 4月始まりの3学期制です。
 平成28年度に開校52周年を迎えた幼小中一貫校です。
 現在、スパン校舎は、広大な敷地に幼稚部、小学部、中学部それぞれにプール、体育館・運動場を備えるなど、恵まれた環境が整っています。また、日本庭園「ふるさと」、日本文化資料室「馬來西庵（マレーシアン）」など、マレーシアの中でも日本の伝統文化に触れることができるスペースもあります。本校は「入ってよかったJSKL 通わせてよかったJSKL 務めてよかったJSKL」を目指した学校づくりを推進しています。幼稚部教育目標「心豊かで誰とでも仲良くできるたくましい子ども」の達成のために、教職員が一丸となって教育活動を実践しています。
 全教室に蚊取り機能付き空気清浄機と冷房が完備されています。



【幼稚部1日の流れ】

9:30登園
 10:00朝の会
 10:30主活動（運動・水泳・製作・音楽など）
 11:00自由活動
 12:00頃昼食
 13:00主活動
 13:30終わりの会
 14:00降園準備
 14:40降園

※こちらに写真を貼



【主な行事】

1学期：始業式、入園式、参観懇談会、身体測定、歯科検診、子どもの日集会、個人面談、運動会、時の記念日集会、七夕集会、親子交流会、終業式

2学期：始業式、土曜参観、参観週間、中秋節、ペスタスパン（お遊戯会）、遠足、七五三集会、生活発表会、個人面談、おたのしみ会、終業式

3学期：始業式、お正月集会、節分集会、ひな祭り参観懇談会、お別れ遠足（年長）、子どもお別れ会、卒園式、修了式
 ※その年によって変更する場合があります。



【国際理解集会・日本文化集会】

マレーシアならではの風習や、文化を集会という形で子どもたちに伝える取り組みをしています。（マレーシアのフルーツ、ハリラヤブアサ、中秋節、ディババリ、中国正月など）年少児～年長児まで理解できるように、子どもたちに実際のものを見せたり、触れたりして体験しています。同じように日本人として日本の文化や行事（子どもの日集会、歯みがき集会、時の記念日集会、七夕集会、七五三集会、お正月集会、節分集会、ひな祭り集会など）に触れています。毎月の歌では日本の季節の歌をうたいます。製作活動では、日本の季節に合った絵を描いたり、折り紙を折ったりしています。

写真は、中国正月集会のイーサントスの様子。

生活環境




【住居】

住居は学校の定めた規定に当てはまるコンドミニアムです。警備員が24時間常駐しており、敷地内に入るためにはIDを確認されます。テレビ、電子レンジ、冷蔵庫、エアコンや家具（ソファ、ベッド、ダイニングテーブルなど）生活に必要なものは備えています。ほとんどのコンドミニアムには、プールやジムがついています。学校から自宅までは車で30分圏内です。（時間帯によっては渋滞が激しい場合もあります。）



【周辺のお店・病院等】

学校から車で10分ほどの場所に日本人通訳サービス（無料）のある病院があります。モールの中にはAEONやISETAN、DAISOなど日系のスーパーやデパートが入っており、日本の食材や馴染みのものは簡単に手に入ります。マレーシアの気候は熱帯性気候に属し、年平均気温は32度前後、朝晩は24度程度と過ごしやすくなります。都心には高層ビルが建ち並び、また、校外の丘陵地には高層集合住宅の建物や、住宅造成が続き、整備された街づくりが進んでいます。

	<p>【物価・休日・現地独自の文化等について】 物価は、日本と比べると全体的には安いと言えるでしょう。1リングギットで25～30円ほどです。屋台などに行くと5～15リングギットで食事ができます。しかし、ものによっては日本で購入するよりも高くなることもあります。例えば、アルコール。国教がイスラム教のため日本より高いこともあります。 マレーシアは多民族国家です。マレー系マレーシア人、インド系マレーシア人、中華系マレーシア人がいます。そのため、国の祝日も様々です。ハリヤブアサ（断食明けの休み）、ディババリ（ヒンドゥー教のお祭り）、チャイニーズニューイヤー（中国正月）などがあります。 交通は、タクシー、電車、バスなどとても安くても便利です。</p>
<h3>応募者へのメッセージ</h3>	
<p>園長より</p>	
<p>クアラルンプール日本人学校幼稚部は小学部中学部と同じ校舎にあります。3歳から15歳までの連携と学びを大切にしています。先生方も全ての学部をまたいで交流しています。幼稚部は年少・年中・年長と二クラスずつです。ワークを大切に「子どもが行きたい」「保護者が行かせたい」「先生が働きたい」を合言葉にしています。地の中で、運動・水泳・EC・製作・音楽・読み聞かせなどの活動をしています。子どもが大好きな経験ある先生を待っています。</p>	<p>チーム 世界一広い敷</p>
<p>学校採用教員より</p>	
<p>私が、海外で幼稚園教諭として働きたいと思ったきっかけは、日本で働いている幼稚園でも、外国籍の子が年々多くなったからです。海外で過ごしている日本の子どもたちはどのように生活しているのか、どんなことに不便さを感じているのか知りたいと思い、応募しました。初めての海外勤務ということもあり、生活も仕事も不安がたくさんありました。しかし、先輩の先生方が生活を立ち上げるために様々なサポートをしてくださり1か月ほどで生活を立ち上げることが出来ました。子どもたちは、年度の途中での編入が多く、一年を通して別れの経験します。そのためか、新しく編入してきた友だちには積極的に声をかけ、手取り足取りここでの生活を教えてあげています。また、幼少中一貫校のためほとんどの子どもたちが幼稚部から小学部に進学します。幼稚部と一緒に過ごした子どもたちのランドセル姿を見られることはとても嬉しい事です。是非、クアラルンプール日本人学校で一緒に働きましょう。</p>	